



発行:NPO法人みのお山麓保全委員会 2026年(令和8年)10・11・12月号

求められている 生物多様性を保全しながら 気候変動に適応する仕組み



オケ原池 2026年9月11日

かつて、農業や日々の生活に欠かすことが出来なかった箕面の里山。経済的な価値がなくなり人の手が入らず、増えすぎたシカなどの食害により**植生の衰退**が顕著になっています。農地やため池が減少し、山林所有が負担になっている地権者も増えています。

いつ豪雨被害が起きてもおかしくない現在、**気候変動に適応**しなければなりません。**森林や遊水池**には、洪水を緩和したり、土砂の流出を防ぎ、斜面の崩壊を防ぐための**大切な機能**があります。

ため池の決壊リスク低減のために、3年前から水位を下げてきたオケ原池。今年は雨が多かったせいか比較的水位が高く、数年の間、ほとんど見られなかった**マミズクラゲ**の復活が確認されました。

ため池堰堤の防鹿ネットの中にイノシシが侵入し、周りの森林ではシカ害被害が深刻です。**生物多様性を保全**しながら、**生態系を活用**し、私たちの生活と**自然との共生**をめざす仕組みが求められています。



マミズクラゲ



防鹿ネット内(堰堤)の草地環境 → イノシシ侵入による被害



防鹿ネット内外の植生の違い

秋に 箕面の森に訪れる冬鳥たち

秋になると、箕面の森で子育てを終えた夏鳥が越冬のために東南アジアの国々に渡って行きます。入れ替わるように、ロシア極東部や中国東北部などや日本の北方地域や高山帯で子育てを終えたジョウビタキやルリビタキ、キクイタダキなどの冬鳥が越冬のために箕面の森に渡ってきます。水鳥も北の国や地域で子育てを終えて、箕面のダム湖やため池に飛来します。秋は鳥たちの渡りの季節です。季節にあわせて渡りをする鳥たちに、国境はありません。



ジョウビタキ(オス)



ジョウビタキ(メス)



ルリビタキ(オス)



ルリビタキ(メス)



キクイタダキ



アトリ



シロハラ



ツグミ



アオジ



ベニマシコ



マヒワ



ミンサザイ



キンクロハジロ



オオバン



ヒドリガモ



ホシハジロ



マガモ



オシドリ

みのお山麓保全活動助成金 活動報告会を実施しました

6月28日(日)、みのお市民活動センター多目的室において、「2026年みのお山麓保全活動助成金」活動報告会を実施しました。

2025年度にみのお山麓保全活動助成金を受けた市民団体などが、その成果を報告しました。ひとつの団体につき3分間という限られた時間でしたが、19団体の「活動の成果」を共有する充実した機会になりました。報告会には、みのお山麓保全委員会理事、助成金審査会委員のほか、山林所有者代表、市民団体代表など、計42名が参加しました。



発表資料はこちら



各団体とも限られた時間の中で工夫をこらした成果を発表でした。

「多くの市民団体が、箕面の山や森で多様な活動を行っていることがあらためてわかり、大変よかった。助成金を活用して、より一層箕面の山の保全活動を推進していただきたい」と、助成金審査会の須貝委員(みのお市民活動センター理事長)から総評がありました。



報告会の様子

山林整備ボランティアを対象にした安全管理研修会を行いました

安全管理研修会を8月30日(日)、みのお市民活動センター多目的室で行いました。参加者は42名 日頃山林整備サポートボランティアに参加している皆さんです。講師の日本森林ボランティア協会理事・日赤救急法指導員の苦智子さん、金子譲さんから、「作業中の突然のトラブル対応」などの救急法についてお話いただきました。



前半は「山作業での危険とその回避方法」の講義



三角巾のたたみ方や止血の方法も教えていただきました。



後半は、参加者が傷病者と救助者に扮してのケーススタディ。

こうした初動対応で、被害を最小限におさえることが、とても大切だと再確認しました。



もし傷病者が発生してしまったら…さて、どうする？！

- ① 傷病者も救助者も冷静になる
- ② 救助者自身の安全を確保し、二次災害を防止する
- ③ 傷病者を安静に保つ

第30回 箕面の森の音楽会

風に揺れる葉の音、小鳥のさえずり、水のせせらぎ、流れる音色に身をまかせて五感で楽しむ音楽会♪

箕面の森の中で音楽を楽しむとともに、森を大切にしようというこころを育んでほしい……そんな願いが込められた「第30回箕面の森の音楽会」が8月22日(土)、瀧安寺前広場で行われました。

多くの市民のみなさんが、残暑厳しい晩夏のひと時を楽しみました。



第23回 まんどうろ火祭り



ま〜んどうろ
火〜ともせ



箕面の里山の伝統行事「第23回まんどうろ火祭り」が8月8日(土)、かやの中央かやの広場と千里川河川敷で開催され、提灯やたいまつを手に、子どもたちが河川敷を練り歩きました。

まんどうろ火祭りは、お盆の送り火に愛宕信仰(火の神様)が習合した民俗行事で、昔は箕面の多くの村々で行われていました。こうした地域の伝統文化を通して、里山の保全の必要性を広く伝える活動となっています。

※「まんどうろ火祭り」「箕面の森の音楽会」は「みのお山麓保全活動助成金」の支援を受けて開催されています。

第15回 山林整備サポーター・ボランティア養成講座を10月10日(土)開催！

受講生募集！



★ 日時：10月10日(土)午前10時～午後3時 小雨決行

★ 集合：9時45分 皿池公園(箕面市粟生外院5丁目)

★ 参加費無料：事前申込(先着10名) ★対象：高校生以上

未経験者・初心者
大歓迎！

「箕面の自然が好き。山で体を動かしたい。森林保全などについて興味があり、ボランティアとして参加してみたい。」…そんな人たちのための講座です。安全作業に関する基本的な知識、樹木の伐倒方法や道具の使い方など、基礎から学べます。未経験者も初心者も大歓迎。

- ・午前の座学…ヒノキ林でヒノキの椅子と机でみのお山の現状と基本技術と安全知識
- ・午後の実習…ノコギリの使い方から倒木処理や間伐・伐倒の方法



☆講座修了後は、今秋後半から始まる山林整備ボランティア活動への参加を期待しています。(詳しくは山麓委員会HPで)

2026 みのお山とみどりのフェスティバル 《体験フェア》を開催！

★ 日時：11月3日(祝)午前10時30分～午後3時30分 雨天中止

★ 場所：瀧安寺前広場、阪急箕面駅前ステージなど



より多くの市民のみなさんに、“箕面の山のみどりを守り、育て、活かす！”市民ボランティア団体などの日ごろの活動を知ってほしい…今年も、11月3日(祝)に山とみどりのフェスティバル/体験フェアを、瀧安寺前広場などで開催します。子どもたちに自然体験を楽しんでいただける企画がいっぱいです。ぜひ会場にお越しください！

- ・体験…ヒノキのキコリ体験、自然素材を使った工作・バードコール作り、竹トンボ作り ほか
- ・ステージ…紙芝居「雨水の冒険」演奏「箕面の森の音楽会」ほか



箕面の森を守るため、山林火災防止にご協力を！

落葉が始まる10月ごろから春先にかけては、北西の季節風が吹き、とくに太平洋側は空気が乾燥することから、山林火災が増加します。2025年2月に発生した岩手県大船渡市での山林火災では、最終的に3370haが焼失し(箕面市域全面積約2400haの1.4倍)、平成以降で日本最大規模の山林火災となったことは記憶に新しいところです。



山林火災の原因の大半は、人間の不注意によるもので、とくに、たき火による火災は全体の32.5%を占め、最も多くなっています。(令7年、林野庁HP・令和2年～令和6年の平均)

そうしたなかで、2026年1月から8月までに山麓委員会に寄せられた、たき火跡(たき火進行中を含む)の通報は、**5件**に上ります。

北側に山が連なり、山すそに住居が密集する箕面の街は、ひとたび山林火災が発生すると急速に延焼する危険性があります。

山林火災を引き起こした者は法律により重い刑事罰を科されることがあります。かけがえのない貴重な財産である箕面の森を守るため、山林火災防止にご協力をお願いします。



「みのお山麓保全活動助成金」2026年後期(8月期)の助成が決定しました

2026年後期(8月期)助成の概要

■山林所有者(自然緑地等指定同意書提出者)の活動を助成

助成件数・・・15件 筆数・・・47筆 面積・・・73,505㎡ 金額・・・1,543,600円
うち、新規自然緑地同意 1件 面積 630㎡ 山林整備ボランティア派遣 11件
※2026年度年間合計助成件数 93件 助成金額 9,563,100円 派遣要請 64件

■市民団体等の活動を助成

助成件数・・・3件 金額・・・335,000円 うち、新規申請 なし
※2026年度年間合計助成件数 19件 助成金額 2,158,000円



活動団体名	保全活動名	金額
01 箕面森遊びの会	自然の豊かさに気づき、大切にするための自然体験活動	20,000 円
02 中高大連携森林学習プロジェクト	森林保全パンフレット作成、配布による啓発活動など	65,000 円
03 明治の森箕面国定公園写真展実行委員会	明治の森箕面国定公園の四季や生きものの写真展開催	250,000 円

◇ 2025年度 山林所有者による山麓保全活動実績

○助成件数 91件 ○助成金額 9,675,800円

○活動内容

除間伐53件、倒木処理37件、枯れ枝落とし36件、
枝打ち25件、下草刈り22件、つる切り22件 ほか

○山林整備ボランティア派遣要請 62件

参加ボランティア延べ627人。1件当たり平均10.1人

◇ 2025年度 市民団体等による山麓保全活動実績

○助成件数 19件 ○助成金額 2,041,000円

○支出費用実績 2,409,371 円 自己資金368,371円

○経費内容

備品費683千円、消耗品費383千円、印刷製本費
323千円、使用料及び借用料197千円、保険料176
千円、業務委託費175千円 ほか



「箕面の森を守り・育て・活かす」活動にご支援、ご協力をお願いします!

箕面の森の守りびと(みのお山麓保全委員会のサポート会員)になって、募金にご協力ください。「箕面の森の守りびと」には、四半期ごとに「みのお山なみ通信」「箕面ビターセンターだより」などをお送りいたします。なお、募金の際は、下記①②のいずれかをご指定ください。



募金口座: 郵便振替・00930-3-242244 口座名: NPO法人みのお山麓保全委員会
※他行から振込みされる場合は、ゆうちょ銀行 店番099 当座 口座番号 0242244

① NPO法人みのお山麓保全委員会への寄付

用途を限定せずに、箕面の山間・山麓部の保全活動に活用させていただきます。

② 「箕面の山災害復興募金」への寄付

2018年に台風被害を受けた「こもれびの森(箕面市有林)」を中心とした植樹活動や増えすぎたシカの被害から苗木を守る活動などの目的を限定した募金です。

NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001 箕面市箕面1-2-6 箕面駅前ビル301号室

電話&FAX: 072-724-3615

メール: yama-nami@yama-nami.net

ホームページ: <https://yama-nami.net> (検索: 山なみネット)

*箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

